

- 食品
- 食品添加物
- 化粧品
- 医薬部外品



北海道南幌町産 たもぎ茸由来

『たもぎ茸エキス2.5Bx・10Bx・エキス末・乾燥粉末』

GMP認定工場

アップサイクル

特許技術

技術
資料

北海道の伝統的食用キノコの良さを濃縮



たもぎ茸はアイヌ民族も古くから食べてきたヒラタケ科の食用キノコで、北海道の短い夏の間しか採れない貴重なものでした。人工栽培技術の開発により、北海道の樹木のおがくずをベースとしたキノコ培地を培養ビンに充填して殺菌後、厳しく管理された無菌的環境のもと、自動制御で種菌を接種しています。キノコの生育に最適な空調管理をしながら、大切に栽培されたたもぎ茸が原料です。もちろん農薬などの使用もありません。このたもぎ茸の有効成分(βグルカンなど)を活用するために熱水抽出エキス化したのがこの原料です。また、アミノ酸量が多く、美味しい出汁が得られることから全国各地の学校給食にも採用されています。

期待される機能性と摂取目安量

	2.5 Bx	10 Bx	エキス末
免疫賦活作用	80g/日	20g/日	3g/日

その他、メタボリックシンドロームの予防・改善、抗疲労、皮膚の改善、アンチエイジング作用、血圧降下作用など

表示名称例

◎ たもぎ茸エキス、たもぎ茸粉末 など

用途提案

- ◎ 化粧品原料として(抗酸化力など)
- ◎ ヘアケア用品に(自然免疫賦活作用)
- ◎ オーラルケア用品に(自然免疫賦活作用による抗菌)
- ◎ アンチエイジングドリンク(腸管自然免疫賦活作用による)

製造工程

2.5Bx・10Bx	エキス末	乾燥粉末
ポイル 100℃ 5分	ポイル 100℃ 5分	石突掻き出し
ろ過 1.5μm	濃縮	篩い分け
濃縮	マグネットパイプ	熱風乾燥 60℃12時間
マグネットパイプ	ろ過 1μm	粗粉碎 10mmスクリーン
ろ過 1μm	レトルト殺菌	微粉碎 0.1mmスクリーン
濃度調整	デキストリン添加	加熱処理 120℃12時間
計量・充填	溶解・乾燥	計量・充填
レトルト殺菌 120℃15分	篩 30メッシュ	金属探知機
ふき・検品	計量・充填	目視検査
箱詰め・出荷	箱詰め・出荷	箱詰め・出荷

化粧品原料表示

表示名称	INCI名
タモギタケエキス	Pleurotus Cornucopiae Extract
デキストリン	Dextrin

品質規格

	2.5 Bx	10 Bx	エキス末	乾燥粉末
原料	タモギタケ 100%		タモギタケ 66.7% デキストリン 33.3%	タモギタケ 100%
固形分濃度(Brix)	2.5%	10%	—	—
性状	黄褐色～茶褐色の液体で、特有のにおいがある		淡黄褐色の粉末	淡茶色の粉末
一般生菌数	30個以下/g		3,000個以下/g	300個以下/g
大腸菌群	陰性		陰性	陰性

分析値(100g中)

	2.5 Bx	10 Bx	エキス末	乾燥粉末	
エネルギー	3.0	12	320	186	kcal
水分	97.9	91.6	7.8	2.7	g
たんぱく質	1.1	4.4	26.8	24.0	g
脂質	0.1未満	0.1未満	0.1未満	1.9	g
炭水化物	0.6	2.4	52.4	64.7	g
食塩相当量	0.02	0.07	0.12	0.01	g

* 上記はあくまでも分析例です。含有量を保証するものではありません。

その他

	2.5 Bx	10 Bx	エキス末	乾燥粉末
入目	1kg×10袋		1kg	1kg×10袋
賞味期限	製造日より1年		製造日より2年	
保存条件	直射日光を避け、冷暗所に保存			

お問い合わせ

Ver.2304

きたぐにせいかつしゃ

株式会社 北国生活社

〒063-0061 札幌市西区西町北6丁目1-1 ユニビル2階
TEL 011-887-7970 FAX 011-887-7971
Email info@northlife.co.jp WEB www.northlife.co.jp

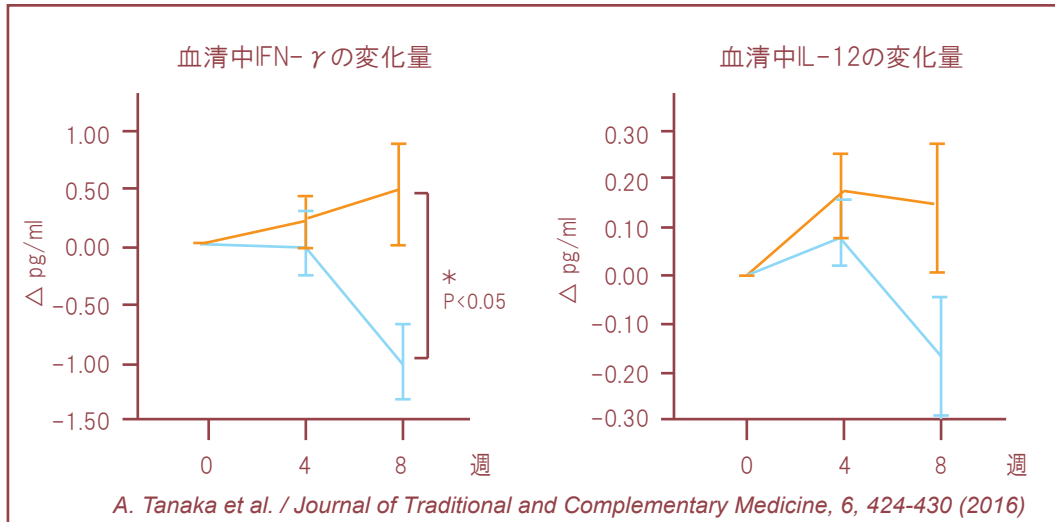
北海道南幌町産『たもぎ茸エキス2.5Bx・10Bx・エキス末・乾燥粉末』

■ 免疫賦活作用による疾患予防効果



34歳から64歳の男女47名の被験者をたもぎ茸エキス摂取群とプラセボ群に分け、二重盲検並行群間比較試験を実施し、たもぎ茸の免疫賦活作用について検証したところ、たもぎ茸エキス摂取群では、血清中のIFN- γ およびIL-12を上昇させ、IL-10およびIL-13および他のサイトカインの血清レベルを低下させることがわかりました。

このことから、たもぎ茸エキスは、マクロファージのIL-12、IFN- γ 経路によって、Th1表現型の増強を介して、免疫系を賦活する力を有し、種々の疾患の予防に有効である可能性が示唆されました。



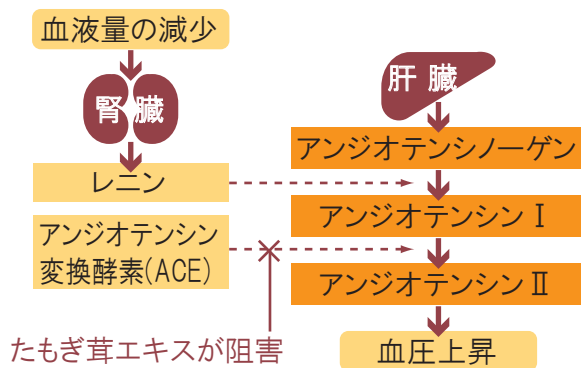
■ 血圧降下作用／ACE活性阻害成分



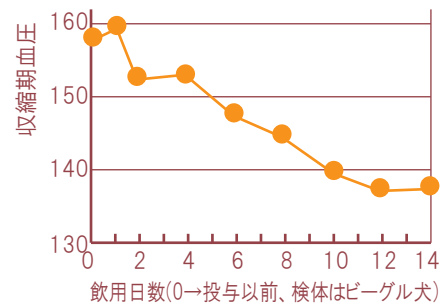
高血圧症の大部分を占めるといわれる本態性高血圧症では、レニン - アンジオテンシン系という血圧調節機構が重要な因子と考えられています。血液量の減少にもない、肝臓でつくられた血液中のアンジオテンノーゲンが腎臓から分泌されるレニンという分解酵素の作用でアンジオテンシン I に変化し、さらにアンジオテンシン変換酵素(ACE)の作用でアンジオテンシン II となり、この物質が血管の収縮作用などにより強力な血圧上昇作用をもたらします。

たもぎ茸エキスには、この血圧を上げるアンジオテンシン II を生成する体内の変換酵素(ACE)の働きを阻害して、血圧が上がらないように作用する物質が存在することが明らかになりました。

(特許第4623996号)



たもぎ茸エキスが血圧に与える影響



お問い合わせ